

平成 30 年 第 7 回  
富 山 県 教 育 委 員 会 会 議 録

I 開会及び閉会の日時

平成 30 年 6 月 4 日 (月)

開会午後 1 時 00 分、閉会午後 1 時 14 分

II 場所

教育委員会室

III 出席委員

1 番	鳥海 清司	2 番	山崎 弘一	3 番	町野 利道
4 番	藤重 佳代子	5 番	村上 美也子	教育長	渋谷 克人

IV 説明出席者

教育次長	坪池 宏		
教育企画課長	津田 康志	生涯学習・文化財室長	菊池 政則
教職員課長	坂林 根則	県立学校課長	本江 孝一
小中学校課長	金谷 真	保健体育課長	東瀬 義人

V 傍聴人数 1 人

VI 会議の要旨

午後 1 時 00 分、渋谷教育長が開会を宣する。

1 会議録の承認について

(平成 30 年 5 月 18 日開催の平成 30 年第 6 回富山県教育委員会会議録)

会議録閲覧

渋谷教育長から可否を諮ったところ、全員異議がなく承認した。

2 報告事項

(1) 黒部市立中学校の設置及び廃止について

小中学校課長から説明した。

(2) 平成 30 年度「日本遺産」の認定について

生涯学習・文化財室長から説明した。

3 その他

今後の教育委員会等の日程について

教育企画課主幹から説明した。

4 議事

○報告事項について

報告事項 (1) 関係

〔鳥海委員〕

・設置の年月日が黒部市立明峰中学校は 3 月 31 日、黒部市立清明中学校は 4 月 1 日ということで、年度がまたがっているが何か理由があるのか。

〔小中学校課長〕

・黒部市に確認したところ、予算上の都合ということで、同一年度に二回になることを避けるためであると伺っている。詳しいことは分かりかねるが、二年度に渡って行いたいと伺っている。

〔山崎委員〕

・市立の中学校ということで分かりづらいところもあるが、元々は黒部市立と宇奈月町立という、市町が異なる中学校が一緒になることになり、新校舎は黒部の学校の校舎を使うということだが、交通の便への配慮についての説明があったが、交通の便がかなり悪くなるのではないか。

〔小中学校課長〕

- ・すみません。聞き取りにくかったのだが。

〔教育長〕

- ・宇奈月中学校に通っている子ども達が桜井中学校の新しい場所の中学校に通うことについては、かなり通学上負担がかかるのではないかと質問である。

〔小中学校課長〕

- ・宇奈月中学校と桜井中学校の現在学校のある場所が約8キロメートルくらい離れている。宇奈月中学校は現時点では、宇奈月温泉のほうに比べるとまだ手前があるので、現時点の宇奈月中学校の生徒にはそれなりの負担はあるのだと思う。それを踏まえて、地鉄が通っているので、その考えを検討しておられるのではないかとと思う。

〔教育長〕

- ・現学校までの通学プラスオンの負担がかかるので、その分については公的措置をするという方針であると聞いている。これは、魚津における統廃合についても同様の措置を行った。魚津の場合はバスであったが、今回は地鉄を活用すると聞いている。

## ○教育行政一般について

〔町野委員〕

- ・先週の超過勤務で亡くなられた方の件であるが、新聞を見て初めて知った。ご遺族の方がオープンにしないで欲しいということでオープンにしなかったということであるが、我々教育委員が知らないというのはどうなのか。ここで、超過勤務に対する先生方に対する施策を協議するわけである。その中で死亡者が出たということは、本人は仕事を色々やって原因が何かあると思うが、一応労災認定したからには、やはり超過勤務で亡くなったという判断をして、その後色々なことをやっていかないといけない。ご遺族の要望でオープンにしないということは、どこまでのことを言っているのかは分からないが、教育委員の我々に情報が無いということは、我々は教育委員として責任をもってそのような話をしていけない。あまりにも、個人情報の保護が行き過ぎており、その辺のどこで切るかというのは難しい話であるが、もう少し公共のために個人の制限されるべきである部分を広げてもいいのではないかとと思う。

〔教職員課長〕

- ・新聞の記事に出ていた件について、教育委員の皆様事前に報告しなかったことについては、大変申し訳なく思っている。今、町野委員からもあったように、今回の案件については、ご遺族の方が公表を望んでいらっしやらなかったという点もあり、県のほうで発表をしていない。今、町野委員がおっしゃたように教員の多忙化については、県としても大きな課題であり、今年度から色々取り組みを行っていくところである。引き続きこうしたことを行っていきながら、こういったことが二度と起きないようにしていきたいと思っている。

〔町野委員〕

- ・そういうことを言っているのではなくて、我々に知らせが無かったことを言っているのである。

〔教職員課長〕

- ・その点については、今回大変申し訳なく思っており、今後こういったことが起きないように気をつけていく。

〔町野委員〕

- ・ここに、教育委員の皆さん来ているが、ただ来ているわけではなく、責任をもって来ている。教育委員をやっているからには、何かあった時に後ろに手が回ることを覚悟で来ている。教育委員会がなかったら後ろに手が回らないこともあるわけである。だが、教育委員であるからということで、そのように手が回るということを覚悟してここに来ている。そういう我々に、そのような大事な情報がきていないということはどうなのかということを行っている。あとはまた皆さんで考えてほしい。

〔教育長〕

- ・私も事務局を預かる身として、お詫び申し上げます。この案件については、これは言い訳になるが、私どもの所管外であり、そちらの本部の取扱いに従っていたわけであるが、内々にでもというお話ではある

と思う。こういった点については、今回のことに限らず、色々な面において、以後、外部の組織であったとしても、事情をお話して、教育委員さん達に広く情報を報告させていただくような方法で今後対応させていただこうと思う。申し訳ございませんでした。

午後1時14分、議事が終了したので教育長が閉会を宣した。